

県立学校新採用教員に対し、服務、教育課程及び生徒指導について研修を行い、教育公務員として必要な知識を得させる。

- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期日・会場
- 第一次 4月26日(月)～4月28日(水)
福島県教育センター
- 第二次 7月21日(水)～7月23日(金)
国立磐梯青年の家
- 第三次 8月23日(月)～8月25日(水)
県北地区、福島中央高等学校
8月18日(水)～8月20日(金)
県中南地区、郡山女子高等学校
8月23日(月)～8月25日(水)
会津地区、若松女子高等学校
いわき地区、磐城女子高等学校
相双地区、相馬農業高等学校
- 第四次 12月13日(月)～12月16日(水)
福島県教育センター
県立福島高等学校
県立福島女子高等学校
県立福島商業高等学校
県立福島工業高等学校
県立福島西女子高等学校

- ④ 対 象
昭和51年度県立学校新採用教員 78名

- ⑤ 内 容

ア 講 演

「これからの教育について」

横浜国立大学教育学部教授 加藤 安雄

「新採用教員に望む」

福島県教育庁高等学校教育課長

高橋 幸一

イ 講義並びに研修題

県立学校の概要

教育課程と学習指導要領

効果的学習指導の条件

教職員の福利厚生について

生徒指導上の諸問題

教職員の服務と勤務

高校教育の課題

教員と教職員団体

学習形態と指導技術

進路指導のあり方

教育評価について

教師とその課題

特殊教育について

先輩教師からの提言(先輩教師と語る)

授業参観と授業研究

ロングホームルームの指導

本年度は、講義や講演ばかりでなく、実践的な研修とするため、会場を福島市内各高校に移し、実際の授業を参観し、各会場の教員も加わって授業研究を行った。これは非

常に効果的であった。

4 教職員研究奨励

- (1) 小・中学校教職員から教育実践に関する研究論文を募集し、教職員の自主的な研究を推奨することによって、研修意欲の高揚や専門性の向上に資し、もって本県教育の振興を図る。

- (2) 主 催 福島県教育委員会

- (3) 応募資格 福島県公立小・中学校教員

- (4) 応募方法

① 研究論文と実践記録とする。

② 学校(学級)経営、学習指導、生徒指導、特殊教育、へき地教育等について、日常実践研究した内容であること。

- (5) 応募数 研究論文 28編 実践記録 69編

- (6) 審査員

郡山女子大学短期大学部教授

長谷川 寿 郎

学校法人福島工業高等学校長

栗 原 喜 蔵

福島大学教育学部教授

大 沢 貞一郎

福島大学教育学部教授

蜂 谷 剛

- (7) 入 選 者

ア 特 選 者

氏 名	学 校 名 ・ 職 名
吉 岡 栄 一	いわき市立平第一小学校教諭
国 分 長 次	安達郡本宮町立本宮第二中学校教諭
坂 本 キヨ子	郡山市立金透小学校教諭
矢 部 フ ミ	喜多方市立喜多方養護学校教諭

イ 佳 作

氏 名	学 校 名 ・ 職 名
根 本 英 雄	南会津郡田島町立田島中学校教諭
松 本 英 夫	安達郡安達町立油井小学校教諭
佐 藤 嘉 之	安達郡東和町立針道中学校教諭
斎 藤 哲 夫	西白河郡表郷村立表郷第一小学校教頭
若 松 千代子	いわき市立小名浜第二小学校教諭
佐 藤 紀 子	耶麻郡西会津町立野沢小学校教諭
宇 野 早智子	河沼郡会津坂下町立坂下小学校養護教諭
矢 内 千 秋	相馬郡小高町立小高小学校教諭
今 泉 清 司	福島市立渡利中学校教諭
穂 積 清 子	安達郡本宮町立本宮小学校教諭

- (8) 表 彰

西庁舎教育長室において、特選者の表彰式を挙行し賞状並びに記念品を授与した。

第3節 教育課程

教育課程は、小・中・高等学校とも完全に実施され、学習指導要領の趣旨についても、その徹底が図られた。

なお、教育課程実施に伴う指導上の諸問題について研究を